

料金表



おとなの矯正

(永久歯が生えそろってからの矯正)

①初診相談	無料
②精密検査 (術前)	40,000円 (税込 44,000円)
③治療方針の説明	無料
④治療 (A~Eのいずれかを選択)	A.表側ワイヤー矯正 900,000円 (税込 990,000円) B.マウスピース型カスタムメイド矯正装置 950,000円 (税込 1,045,000円) C.裏側ワイヤー矯正 : ハーフリングル 1,200,000円 (税込 1,320,000円) D.裏側ワイヤー矯正 : フルリングル 1,450,000円 (税込 1,595,000円) E.部分矯正 150,000円 (税込 165,000)~ ※症例による ----- ※原則として抜歯代込み。 (院内にて処置不可能な場合は、他院にて抜歯代の支払あり。)
⑤調整料 (毎月の費用)	無料
⑥装置撤去・保定装置装着	40,000円 (税込 44,000円)
⑦精密検査 (術後)	無料
⑧保定観察料 (術後の観察料)	3,000円 (税込 3,300円) ※来院毎にお支払い。術後2年間で10回程度。
⑨精密検査 (2年後)	無料

お支払いは、上記の①~⑨の合計額となります。

※治療費は治療期間によって変わることはありません。

※むし歯・歯周病の治療、補綴物 (詰め物・かぶせ物) の製作が必要な場合は、
処置を行う歯科医院にて別途お支払いが必要となります。

※装置の破損・紛失等については実費を頂戴することがあります。ご了承ください。

一般的な治療期間と回数

①A.B.の場合3週~4週ごとの来院ペースで概ね2年前後です。全24回程度の来院です。

②C.D.の場合3週~4週ごとの来院ペースで概ね3年前後です。全36回程度です。

③E.は症例によります。ご相談ください・

※歯の動きやすさ、来院ペースによって±1年程度の個人差はあります。

料金表



こどもの矯正

(永久歯が生えそろう前からの矯正)

①初診相談	無料
②精密検査 (術前)	40,000円 (税込 44,000円)
③治療方針の説明	無料
④治療 (症例によりAもしくはB)	A. I 期治療 400,000円 (税込 440,000円) B. 歯列矯正用咬合誘導装置 (ムーシールド・プレオルソ) 200,000円 (税込 220,000円) ----- ※治療中にAからBにステップアップする場合は、差額の 200,000円 (税込 220,000円)を追加でお支払い。
⑤調整料 (毎月の費用)	無料
⑥装置撤去・保定装置装着	40,000円 (税込 44,000円)
⑦精密検査 (術後)	無料
⑧保定観察料 (術後の観察料)	3,000円 (税込 3,300円) ※来院毎にお支払い。術後1年間で4回程度。
⑨精密検査 (2年後)	無料

お支払いは、上記の①～⑨の合計額となります。

※治療費は治療期間によって変わることはありません。

※むし歯・歯周病の治療、補綴物（詰め物・かぶせ物）の製作が必要な場合は、処置を行う歯科医院にて別途お支払いが必要となります。

※装置の破損・紛失等については実費を頂戴することがあります。ご了承ください。

一般的な治療期間と回数

①A.の場合1～2か月ごとの来院ペースで1年～1年半です。全10回程度の来院です。

②B.の場合1～3か月ごとの来院ペースで1年～1年半です。全6回程度の来院です。

※歯の動きやすさ、来院ペースによって±1年程度の個人差はあります。

当院にてこどもの矯正を行った方が、当院にておとなの矯正を行う場合、治療費については差額のお支払いとなります。

例) I 期治療を行った方が、おとなの矯正で表側ワイヤー矯正を選択した場合
990,000 - 440,000 = 550,000円

例) 歯列矯正用咬合誘導装置を行った方が、おとなの矯正で表側ワイヤー矯正を選択した場合

990,000 - 220,000 = 770,000円

矯正歯科治療に伴う一般的なリスクや副作用について

- ① 最初は矯正装置による不快感、痛み等があります。数日間～1、2週間で慣れることが多いです。
- ② 歯の動き方には個人差があります。そのため、予想された治療期間が延長する可能性があります。
- ③ 装置の使用状況、顎間ゴムの使用状況、定期的な通院等、矯正治療には患者さんの協力が非常に重要であり、それらが治療結果や治療期間に影響します。
- ④ 治療中は、装置が付いているため歯が磨きにくくなります。むし歯や歯周病のリスクが高まりますので、丁寧に磨いたり、定期的なメンテナンスを受けたりすることが重要です。また、歯が動くと隠れていたむし歯が見えるようになることもあります。
- ⑤ 歯を動かすことにより歯根が吸収して短くなる場合があります。また、歯ぐきがやせて下がる場合があります。
- ⑥ ごくまれに歯が骨と癒着していて歯が動かない場合があります。
- ⑦ ごくまれに歯を動かすことで神経が障害を受けて壊死する場合があります。
- ⑧ 治療途中に金属等のアレルギー症状が出る場合があります。
- ⑨ 治療中に「顎関節で音が鳴る、あごが痛い、口が開けにくい」などの顎関節症状が出る場合があります。
- ⑩ 様々な問題により、当初予定した治療計画を変更する可能性があります。
- ⑪ 歯の形を修正したり、咬み合わせの微調整を行ったりする可能性があります。
- ⑫ 矯正装置を誤飲する可能性があります。
- ⑬ 装置を外す時に、エナメル質に微小な亀裂が入る可能性や、かぶせ物（補綴物）の一部が破損する可能性があります。
- ⑭ 装置が外れた後、保定装置を指示通り使用しないと後戻りが生じる可能性が高くなります。
- ⑮ 装置が外れた後、現在の咬み合わせに合った状態のかぶせ物（補綴物）やむし歯の治療（修復物）などをやりなおす可能性があります。
- ⑯ あごの成長発育によりかみ合わせや歯並びが変化する可能性があります。
- ⑰ 治療後に親知らずが生えて、凸凹が生じる可能性があります。加齢や歯周病等により歯を支えている骨がやせるとかみ合わせや歯並びが変化することがあります。その場合、再治療等が必要になることがあります。
- ⑱ 矯正歯科治療は、一度始めると元の状態に戻すことは難しくなります。